

■発行/医療法人社団創造会 広報委員会

〒270-1101 千葉県我孫子市布佐834-28 ☎04(7189)1111(代)
http://www.medicalplaza.or.jp/

第34号発行/2010年(平成22年)5月20日

「創造会」理念

1. 私たちは、患者さんと地域の方々に求められ、望まれる医療と福祉を真摯に行います。
2. 私たちは、医療と福祉を通じて人のために尽くすということが、私たち自身の喜びとなるような創造会にします。
3. 私たちは、常に私たちの可能性を信じ、新たなものに挑戦していきます。

創造会メディカルプラザ



平和台病院	04(7189)1111(代)
介護老人保健施設エスパー	04(7189)1112(代)
介護老人保健施設クレオ	04(7179)7700
在宅センター	
訪問診療室	04(7189)1121
居宅介護支援事業所ふさ	04(7189)1113
居宅介護支援事業所けやき	04(7179)7755
訪問看護ステーションふさ	04(7189)1114
ケアプラザ柴崎	
デイサービス柴崎	04(7181)3100
グループホームヴィスタリオ	04(7181)3900
ケアプラザ寿・グループホーム寿	04(7179)6600
予防医療センター	04(7189)1119
こどもデイルームみらい	04(7189)1783

『メディカルプラザ構想』の

集大成と

さらなる発展に向けて

本紙第31号(保健・医療・介護のさらなる充実の実現、32号(来年1月の竣工を目指して)、33号(メディカルプラザ新館オープンにあたって)と連続3号にわたって新館の概要、工事の進捗状況についてお知らせしてきた待望の『メディカルプラザ新館』が遂に完成し2月28日(日)正午から多数の来賓を迎え竣工式を行った。

講演界初の人間国宝に輝き、昨秋には旭日小綬章を受章された一龍齋貞水氏による司会式は進行し、皮切りに新館の前途を祝う湯島天神白梅太鼓の豪快で華やかな栞落としがあり、満場の喝采を浴びた。

次に主催者を代表して、土井紀弘理事長より「救急医療の強化」という建設の趣旨、併せて「人間ドック、健診施設の拡充」「在宅医療・看護」への取り組みを骨子とする新館の紹介があった。

引き続き、星野順一郎我孫子市長、沢田愛子同市議会議長、今井勝、花崎広毅同県議会議員、依田安弘我孫子医師会長、伊藤達雄東京女子医科大学八千代医療センター名誉院長、小林士郎日本医科大学教授千葉北総病院脳神経外科部長、(社)日本脳卒中協会千葉支部支部長よりご祝辞を頂いた。2000年にスタートした予防医療・病院・老健施設・在宅サービス等を複合的、有機的に行っていく『メディカルプラザ構想』が10年をかけてここに集大成したので、その進化の過程を振り返り、さらなる発展の糧にしたい。



理事長 土井紀弘

平成22年度 創造会事業方針

救急から介護まで

組織体制の強化

民主党政権に代わって初めての診療報酬改定は10年ぶりのプラス改定(0.19%)となりました。

今回の改定の大きな特徴

民主党政権に代わって初めての診療報酬改定は10年ぶりのプラス改定(0.19%)となりました。今回の改定の大きな特徴

救急医療の特定分野への重点配分。の2つを初めて打ち出したことが挙げられます。2年後には医療と介護の同時改定が控えており、

救急医療、医療と介護の連携、予防医療の充実、注力したいと思えます。

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ

救急医療の特定分野への重点配分。の2つを初めて打ち出したことが挙げられます。2年後には医療と介護の同時改定が控えており、

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ

救急から介護まで、組織体制の強化、地域の皆様の中核医療機関・介護施設としてオ



司会の一龍齋貞水氏



湯島天神白梅太鼓

Phase 1 2000年4月 「平和台病院」新築移転(一般84床 療養46床 計130床)「介護老人保健施設エスパー」(95床)併設 アメニティ施設の充実:1階売店・喫茶「アゼリア」、5階レストラン「イマジ」 ☆従来の病院にないバブリーなイメージの「プラザ広場」での交流、情報発信

Phase 2 2002年2月 複合型保育施設「未来館」開設(24時間院内保育+病児保育所) ☆就業と育児の両立支援

Phase 3 2003年8月 JICA海外看護指導者研修受入・派遣(～2009年 40カ国79名) ☆我孫子発:地球市民「医療・看護の国際交流

Phase 4 2003年10月 回復期リハビリ病棟(46床)開設 ☆急性期～自宅復帰の中間施設としてリハビリ機能を充実

Phase 5 2004年4月 オーダリングシステム導入 ☆診療のIT化による効率化、会計待ち時間の大幅短縮による患者満足度の向上

Phase 6 2005年4月 「ケアプラザ柴崎」(デイサービス+グループホーム)開設 2006年6月 「ケアプラザ寿」(小規模多機能型居宅介護+グループホーム) ☆地域に根ざした高齢者介護サービスの展開

Phase 7 2007年3月 「介護老人保健施設クレオ」(100床)開設 ☆利用者のプライバシーに配慮した全室個室、ユニットケア採用

Phase 8 2010年3月 「メディカルプラザ新館」(救急センター、一般病床40床、予防医療センター、在宅センター)開設 ☆メディカルプラザ構想の集大成

22年度基本方針

(I) 重点項目

- 1) 医療、介護の質の継続的向上を通じて、顧客との長期信頼関係を構築する
 - i) 救急受け入れ体制強化
 - ii) 診療体制の強化と患者サービスの向上
 - iii) 医療、介護安全対策の強化
 - iv) 地域医療、介護連携体制の強化
 - v) 予防医療センター受け入れの拡大と機能評価受審(専門営業要員の拡充)
 - vi) DPC参加(2011年秋対象病院予定)
 - vii) 医療、介護情報の積極的発信(広報室設置、ホームページ刷新)
- 2) 新人事制度の作成を通じて、人材の育成と職員のモチベーションの向上を図る
 - i) マネージャークラスの育成(総合職・専任職の導入)
 - ii) 全員参加型経営
 - iii) 教育研修制度の体系的な作成
 - iv) 資格取得の奨励制度の作成

(II) 中期計画

- 1) 経営指針発表会(全職員参加による経営方針の共有)
- 2) 業務改善委員会の設立(DPC導入を見据えて原価低減の徹底、在院日数のコントロール)
- 3) 機器、物品購入委員会の設立
- 4) スピードを重視した意思決定・経営を行なう
 - i) 会議形式の改善、会議ルール作り
 - ii) 5)との関連
- 5) 組織体制の改革を行い組織力の強化を図る
- 6) 施設間、部門間、部門内、上下の活発なコミュニケーションの向上を図る

クルルが分散することなく、効率的に活用できるように、ガバナンスを強化いたします。

みなさん、献血に協力したことはありますか?私はい、これ十数年続けています。最初に献血をした時は、軽い気持ちで始めたのですが、だんだんとこれも社会貢献のひとつになるかなと思ふようになりました。それからからは出来るだけ献血に協力しようと思ひ、現在まで続いています。私のしている献血は400ml全血献血で、年間最大3回1200mlまでとなっています。その他の献血種類には200ml全血献血、血漿成分献血、多血小板血漿成分献血、血小板成分献血などがあります。事故や手術等で血液を必要としている人はたくさんいますが、献血協力者数は、この年で2割減になってしまったそうです。特に10代、20代の若者の減少率50%が目立つようです。私は、しばらく前から年間3回を目標に掲げて達成してきました。今年も目標は3回献血です。前回の献血から4ヶ月が経過し、献血できる時期がきたというハガキが送られてきたので、お正月にも献血センターに行ってみました。最近献血に協力してもらっているためにネイリや占いのサービスをしている所もあると聞ききましたので、一度献血センターに向いて協力していただければと思います。ちなみに献血できる年齢制限は69歳だそうです。私はいま46回ですから順調にいけば100回達成できそうです。クレオ 秋元

新館「予防医療センター」オープン!

かねてから念願であった新館が、この度無事に竣工の運びとなり、当センター



も3階に移転致しました。これまで当センターで行う検査は、病院と共有の医療機器を使用して、行っていましたが、これからは大半の検査が当センター独自で行えるようになりました関係で、病院受診の患者様とは別な空間・環境で快適に検査をお受けいただけるものと自負しております。

健康診断

定期健康診断や雇入時健康診断・特殊健康診断等、ご依頼の検査項目を確認させていただいた上で承っております。

脳検診

脳検診では、以下の検査を行います。

- ①MRI (脳全体の検査) この検査で脳萎縮の程度ミリ単位の小さな病巣無症候性脳梗塞、脳腫瘍等を見つけることができます。
- ②MRA (脳血管の検査) 主として、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤を検査します。従来の血管造影と違い、造影剤等を使わないため痛みを全く感じることなく安全に短時間で終了します。

人間ドック

1日コースと1泊2日コース

検査項目	1日コース	1泊2日コース
身体計測	●	●
血圧測定	●	●
視力検査	●	●
眼底検査	●	●
尿検査	●	●
便検査	●	●
胸部レントゲン	●	●
胃部レントゲン	●	●
安静時心電図	●	●+負荷心電図
肺機能検査	●	●
聴力検査	●	●
腹部超音波検査	●	●
血液一般検査	●	●
肝機能・脂質検査	●	●
血清反応検査	●	●
糖尿病検査	●	●+HbA1c ●+糖負荷
問診・内科・外科	●	●

①安静時心電図：1泊2日は負荷心電図も実施
②糖尿病検査：空腹時血糖及び空腹時尿糖
※人間ドックは予約制です。

計報

平和台病院で17年の長きにわたり耳鼻咽喉科を担当されていた小倉恒子医師が本年3月19日ご逝去されました。享年57歳。



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。先生は34歳で乳がんを発病し、手術を受けたが再発、再々発。インターネットのブログや講演会で自らの闘病体験を語り、患者の相談に乗り続けてこられました。著書に「乳がんの女医が贈る乳がんが再発した人の明るい処方箋」など多数。



当センターでは、以下の検査もオプションでお受けいただくことができます。

オプション検査

- ・CEA (各消化器 肺、乳、甲状腺、卵巣)
- ・AFP (肝臓)
- ・CA199 (膵臓、胆嚢、胆管、肝臓、胃、大腸)
- ・CA125 (卵巣 肺)
- ・女性
・PSA (前立腺)

予防医療センター
☎04
(7189)1119

海外研修

～永年勤続海外研修旅行に参加して～



有名な黒いマリア像が神秘的でした。最後になりましたがこの海外研修の目的であるスペインの医療機関の見学はUSPというプライベート病院でした。スペインの病院は大きく二つに分かれていて一つは、今回見学したプライベート病院。もう一つは、国立病院です。国立病院は治療費が無料であり、誰もが診察を受けられる環境が整っています。しかし待ち時間は大変長くなるのでした。病院スタッフの数は、医師の数が圧倒的に多く看護師は医師の約半分の数でした。スペインでも高齢者の収容先が不足している為、現在、在宅医療の充実が積極的に取り組まれています。



昨年の12月スペインの東端に位置しスペイン第2の都市と言われているバルセロナに5泊7日で行って来ました。参加メンバーは

合計7名(看護職6名、事務職1名)でした。気候は日本よりやや寒かったです。ツアーではなかったが、自分で観光や食事の計画を立て、移動は地下鉄とタクシーを利用したのですが、言語は主にスペイン語・カタリニャ語の併用で会話には大変苦労しました。でもそれも珍道中として楽しい思い出となりました。

ウデイの残した設計図や模型を基に今もなお建築は続けられ完成予定は、2020年頃の見込みだそうです。その他に「グエル公園」にも足を運び、ここもまたガウディによる建築物がありバルセロナを見下ろせる山の手の素晴らしい環境に位置して、真つ青な空がとても印象的に感じられる公園でした。

編集後記

今年の桜は開花宣言がされたかと思うと花冷えの日が続いたり、強風にあおられたり大変な始まりでしたが、皆様ゆっくりお花見など楽しめましたでしょうか？

さて、今回の「びいなっつ」は楽しんでいただけでしょうか。今後とも委員一同力を合わせたい企画を考えていきたいと思っております。(びいなっつ委員)



スペインと言えば、芸術の街、バルセロナを象徴するものがアントニ・ガウディの建築です。その代表作として世界遺産でもある「サグラダ・ファミリア聖堂」は見事な教会でした。ガウディの建築は、石畳の道が連なり情緒満点でした。薄暗い路地を歩いていると中世に迷い込んだような気がして来ました。不思議の世界に遊ぶダリ美術館はあれこれ考えるよりサルバドール・ダリのトリックを楽しみながら過ごすというより楽しい考えになります。カタルニャ宗教の中心地「モンセラット」は標高1235m奇形な形をした岩石が聳え立ち雄大な眺めが楽しめます。また、ここには修道院や美術館があ

り組んでいるのでした。また、健康診断等もプライベート病院では行っており顧客として日本の企業も登録されているそうです。今回、スペインに行き感じた事は、時間に追われる事なくゆったりとした生活を送っている国という印象でした。

